

山梨県スポーツ振興条例案作成委員会

先進事例調査（横浜国際プール）概要

日 時 令和2年11月12日（木）午後2時50分～3時40分

場 所 横浜国際プール 応接室

調査者

委員長 遠藤 浩

副委員長 古屋雅夫

委員 皆川 巖 桜本広樹 渡辺淳也 市川正末 鷹野一雄
大久保俊雄 望月利樹

欠席者

委員 飯島 修

対応者

横浜市 市民局スポーツ振興課 赤羽課長

横浜国際プール 吉田館長

- 調査事項 1 施設の概要について
2 新型コロナウイルス感染症対策について

○ 質問・意見交換について

問) 更衣室やシャワー室というところで、クラスターが起こるのではないかとされている中で、更衣室は人数を制限したり、ドライヤーを外へ出したりといった対策をされていると思うが、シャワー室はどのような対策をしているのか。

答) もともと個室のシャワーになっているので、プールにおいてはシャワーを使ってもらっている。プールを営業するにはシャワーを設備しなければいけないということになっている。本当は浴びさせたくないが、そのような条件のもとでプールをオープンしていいということだ

ったので、プールについてはシャワー室を使ってもらっている。体育室に備えつけている通常の更衣室のシャワーは使わせていない。

答) 先ほどの横浜市の市民医療施設全体についても同じ考えである。プールはどうしてもぬれたまま家に帰るわけにはいかない。シャワー室では距離をとったり、間引きしたりしながら安全対策を講じて使ってもらっている。ただ、トレーニング室や体育館で汗をかいた方が浴びるシャワー室については、今のところまだオープンにしていないというのが、横浜市の施設の実情である。

問) シャワーはあってもお風呂はないのか。

答) ジャグジーはプールのところにある。使ってもらっている。

問) 今は使っていないのか。

答) 使っている。人数制限をしている。ジャグジーの中に入れるのが、2人や3人ということで制限をしている。

問) 運営についてだが、採算性という部分がある。今、どんな感じで収入と支出、採算の部分はどうのようなすみ分けになっているか。

答) 私が言っているのかわからないが、トレーニング室とプールの個人利用については、約70%まで利用人数は戻ってきている。収入的にも、70%くらいは戻ってきている。私たちは教室での収入が一番多いが、教室については20%いくかいかないくらいになっている。固定費となる光熱費や人件費は下がらないので、かなり厳しい状態である。横浜市に補填をお願いしている。

答) 横浜市では、全市的に市民利用施設だけではなくて、文化施設、動物園、公園についても休館を余儀なくされた期間については補填するということで手続している。開館してからの収入の減の部分については、これから補正予算等を協議したいということで、今後検討していく段階である。

問) 平常時、稼働率100%、102%、103%ということで、平常

時については収入と支出という部分はどのような感じだったのか。

答) 年にもよるが、国際プールの予算規模は、9億5,000万円くらいである。そのうちの42%くらいを指定管理料ということで、横浜市からもらい、その残りの部分を自主事業等で収入を得ている状態である。

これまでは、教室の売り上げがよくて支出を収入が上回る形になっていた。その部分は、次の年の修繕費などに使っていた。

問) 国際プールということで、例えば国際大会やイベント等で、何か企業と結びついた大会があったり、国際大会とか、企業と連携した大会は開催されているのか。

答) 夏はメインプール、50メートルの長水路、国際公認のプールがあるので、日本水泳連盟や神奈川県の水泳連盟と連携して、去年はジャパンパラ、障害者の方の全日本の大会など各種そういう大会を開いている。今までの中でいうと、一番大きいのはパンパシフィックの水泳大会というものがある。それから日本選手権をやっている。冬の期間はフロアになるので、今は横浜ビー・コルセアーズというバスケットボールチームのホームアリーナとして年間24試合、冬の時期だけが、興行ということをしてもらっている。ほかに日本テニスリーグというものがあり、そのテニスリーグのファーストステージ、セカンドステージをやっている。

問) 年間のスケジュールがあると思うが、施設利用を考えるような日数は、大体何日くらいを想定しているのか。

答) 利用調整会議というものを開いている。第1優先は全国大会や世界大会、それから第2優先は県大会、市大会である。第3優先は小さい大会という順番で7月から各団体に希望をとり、それを12月までの間に我々で調整し、その日数も含め、利用調整会議に諮って、学識経験者の方々に審査してもらい、利用日数を決めている。年によっては大会の数等は変わってくる。断る数もかなり多い。また、全国大会をするにしても、結構外から車で来る。地下鉄の北山田という駅もこのプールの下にできたので、アクセス的にもいいということで、神奈川県内でも相模原にグリーンプールというものがあるが、こちらを選ん

でもらっている。

問) 例えばパンパシフィックだと5億円入るとか、決まっているのか。国際大会では1日幾らになるとか。

答) それは施設利用料金ということでやらせてもらっている。

問) 教室運営とは何か。教室というのは幼稚園児や小学生とか、そういう学校単位の教室か。

答) 子供の教室もあるし、成人の教室もある。

問) そのほかに、競技団体のスポーツクラブ教室もあるのか。

答) スポーツクラブの教室は、ここでは営業されていない。

問) 営利目的のものというのは、一応横浜市の施設なので、お断りしている。

答) 神奈川県の水泳連盟、横浜市の水泳の協会として、強化練習は受け付けている。ただ、民間の練習ということでは受け付けていない。

問) 教室のパンフレットがあれば、後で資料をもらいたい。ただ、優秀な選手は民間のスポーツクラブからも出ると思うが、そういう人たちは練習させないのか。

答) 練習はしてもらっている。自分が先生となって、そこで生徒から1,000円受け取って教室をやるとか、そういう営利目的な場所としては貸し出していないということである。

以上